

特定非営利活動法人まなひろ

2025年度事業報告書

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)



～人との違いを学ぶひろば～

人と人とのちがいは、当然のこと。
お互いのちがいを認め合い、ともに生きる地域社会を目指して・・・

目次

1. 2025年度を振り返って	3
2. 運営に関する事項	
2-1 会員について	4
2-2 他団体の会員として	4
3. 事業に関する事項	
3-1 学習支援事業	5
3-2 学習支援のための地域交流事業	7
3-3 情報技術・サポート支援事業	10
4. 地域でつながる	12



2025年を振り返って

2025年度、特定非営利活動法人まなひろは6年目を迎えることができました。

2025年度も数字だけを追いかけると決して順風満帆な運営状況とはいきませんが、私たちは主体的な運営が自立した組織への第一歩であり、未来を切り拓く鍵であると考えています。

『学び』と『ひろがり』の場を絶やさぬよう、これからも真摯に取り組んでまいります。

2025年度、任期満了に伴い理事長を交代いたしました。

よりよい地域活動を継続していけるよう2025年度の反省を踏まえ2026年の活動に生かしていけたらと思っております。

理事長 新井こずえ



運営に関する事項

2-1 会員について

	2025年会員 (2025/3/31現在)	2026年会員 (2026/3/31現在)
正会員（個人）	13名	11名
正会員（団体）	—	—
賛助会員	—	—

2-2 他団体としての会員

下記の団体に会員として参加しました

- ・ 横浜市鶴見区社会福祉協議会



事業に関する事項

3-1 学習支援事業

(情報技術を利用した学習支援・スポーツイベント・進学・就労支援を含む)

学習支援は年間50回実施しました。

利用日時は利用者の要望と当法人のスケジュールに合わせていただき、実施致しました。

従事者人数は3名、受益対象延べ人数50人です。

学習支援は個別に訪問型をメインに実施しました。

個別支援の特性を生かし、個々の課題別に支援を実施しています。

不登校から利用した子はこの春まなひろの支援を卒業しました。学校へ通うという目標を達成しそれが1年継続できており、本人も保護者も「もう大丈夫」と思えるまで伴走を続けました。

不登校期間中、毎日学校へ行くことや卒業式に参加する未来は全く考えられなかったけれど、今はそれが当たり前で毎日なって良かったと、感謝のことばをいただいております。

進学先の学校にも元気に通っているようで、無事に役目を果たすことができました。

そして、就職支援も実施しました。

面接シートや小論文の添削、模擬面接とフルサポートを実施。

第一希望の企業に採用決定。

家庭都合での就職の進路ではありましたが、この子には環境が落ち着いたら資格取得や得意なことや好きなことを活かせるよう、次のステップも一緒に目指そうねと話をしています。

学習支援を利用している子が
沖縄アート展in鶴見に
大きな作品を出品しました。
絵を描くことが大好きな子が
得意を発揮できる機会に
立ち会うことができました。



私たちは将来を見据えて支援をしています。

子どもたちには様々な困難があります。

支援では将来を見据えて困難を乗り越える体力を創る伴走を行っています。

3-2 学習支援のための地域交流事業

- ・ イベント出展回数24回
- ・ 委託販売6回

沖縄鶴見をテーマにしたハンドメイド商品をたくさんの方々に手に取っていただきました。

3D印刷で制作したフィギュア色塗りは種類を増やし、いつも子どもたちに大人気です。

今年からフェイス・ボディペインティングをはじめ、こちら子どもから大人の方までその日だけのアートを楽しんでいただけたと思います。

今年度はお天気にとっても左右され、残念ながら中止になってしまったイベントもいくつかあります。

使用するものによって長期保管で劣化してしまうものもあり、かと言って廃棄もできないため一部採算が取れないものが出てきてしまいました。

今までこのような事象がなかったため、今後どのようにしていくかが検討事項です。

そして、今まで委託販売していた店舗様が委託から卸売となりました。

こちらの商品は店舗様と協同で商品開発をしております。

私たちが子ども向けコンテンツで大事にしているのは
「誰もが楽しめる」という部分です。

障がいがある子ども達にも楽しんでもらいたい
その思いもあります。

車いすに乗ったままでも遊べるようにスーパーボールす
くいは設置しております。

経験することは財産であり、どの子にも楽しさを体験し
てほしいと思っています。

■参加イベント

生麦de日曜マルシェ
つるぎんドット来〜い !!
つるみワールドフェスティバル
鶴見ウチナー祭
鶴見臨海フェスティバル
生麦de事件DA !!
沖縄物産フェア
白幡神社夏まつり
鶴見ウチナー国際映画祭

生麦大収穫祭
八幡神社祭り
生麦南仲通夏まつり
レアールつくの盆おどり
生麦安養寺de沖縄マルシェ
食鮮まつり
Work Shop Days
つるみ区民活動センターまつり

(順不同)



3-3 情報技術のサポート・支援事業

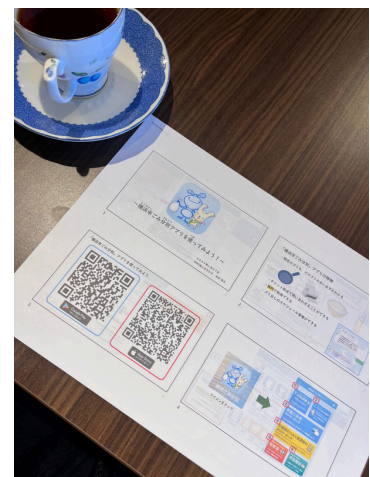
情報技術のサポート・支援は10回

従事者人数は2名、受益対象延べ人は70人です。

スマホ講座は反町カフェぽらん様にて毎月第4土曜日講師として参加しています。

生活に密着したアプリのご紹介やその使い方、パソコンの使用方法についてのご相談をお受けしました。

また、つるみ区民活動センターまつりでもシニア向けのミニスマホ講座を開催、皆さまちょっとしたお困りごとがあることを改めて感じました。



Webサイトに関する案件8件ありました。会社や団体等がメインになります。

Webサイトは作って終わり、ではなくそこからがスタートとなります。

描きたい未来や目指すものがどのようなものであるのかという部分を時間をかけヒアリングしています。

今年度はプログラミングスクールの後方支援も実施しました。プログラミングの技術相談と指導方法について支援実施しました。

こちらはスクールが閉校となり、今年度末で終了となりました。

情報分野はスタッフそれぞれスキルアップし各種資格を取得しております。それらを活かして市民向けの情報リテラシー講座の開催を目指しております。



地域でつながる

子ども食堂

株式会社木曾屋様開催の子ども食堂に協賛する形で2023年12月より参加しています。

まなひろは、食材の提供と調理を担当しています。誰もが参加しやすいようにとの木曾屋様の思いがあり子ども・学生・妊婦さんには無償で提供されています。まなひろ以外にもたくさんの企業・個人様が協賛しており、毎回40～50名前後の子どもたちが朝ごはんを食べにきます。

この中に、食べることに困難さがある子が実際どの程度いるかを把握することは難しいですが、地域の大人たちが見守っていることが子供たちに伝わっていたらいいなと、困ったときは声を掛けてほしいなと思っています。



鶴見区二十歳を祝う会

2023年より協力という形で参加しています。
この会は、障がいのある成人を迎える方が対象となっています。
本年度も実行委員会の方と相談し、お祝いの席で少し大人の味も楽しんでもらえたらとミュコーヒーさんに協力して頂きコーヒーゼリー50個を寄付しました。

